

防災備蓄倉庫の配備について

1 目的

平成16年度から24年度に一時避難場所である小学校に防災備蓄倉庫を設置しましたが、平成26年5月に公表された南海トラフ地震の被害想定の見直しにより、避難者想定数が増加し、より多くの備蓄が必要となりました。そのため、避難生活を支援するための備品を備蓄し、迅速な支援を行うために、新たに防災備蓄倉庫を設置します。

平成28年度前期は、北中学校に防災備蓄倉庫を設置しました。また、後期として、南中学校、城北中学校、西部地域交流センターへ設置予定です。

2 年度別防災倉庫設置箇所

設置学校の選定は、南海トラフ地震等の被害想定が大きいとされる地域から順次進めました。設置年度及び設置箇所は以下のとおりです。

平成16年度：大門・北野・矢作北・矢作西・矢作東・矢作南・六ツ美西部・六ツ美北部・六ツ美中部・六ツ美南部・福岡

平成17年度：梅園・岡崎・連尺・広幡・城南

平成18年度：井田・三島・愛宕・六名・大樹寺

平成19年度：根石・羽根・小豆坂・上地・岩津

平成20年度：竜美丘・常磐・緑丘・藤川・奥殿

平成21年度：常磐東・恵田・生平・本宿・竜谷

平成22年度：男川小・美合小・秦梨小・常磐南小・山中小・細川小

平成23年度：額田地区の閉校した3校（鳥川小・大雨河小・千万町小）の空教室等を利用し防災倉庫として使用

平成24年度：豊富小・夏山小・宮崎小・形埜小・下山小

平成26年度：矢作中学校・六ツ美中学校・岡崎中央総合公園

平成27年度：矢作北中学校・六ツ美北中学校・矢作橋西詰防災倉庫

平成28年度：北中学校、年度末完成予定（南中学校、城北中学校）

3 防災倉庫の概要（外観、面積）

カラーアルミ製・床面積12㎡

（幅2m・長さ6m・高さ2m）

備蓄量等の関係で、一部の学校は床面積9㎡（幅2m・長さ4.5m・高さ2m）

今年度設置の3中学校は、9㎡です。



4 防災備蓄倉庫内の主な内容品

生活用品...非常用簡易トイレ、トイレ薬剤、毛布、非常用ラジオ、強カライト、哺乳瓶、プライベートルームテント

資 機 材...防水シート、防災テント、発電機、リヤカー

食 糧...クラッカー、アルファ米、粉ミルク、飲料水

5 防災倉庫の鍵の保管

学校、地元総代会長及び避難所運営担当者に防災備蓄倉庫の鍵の保管を依頼し、非常時には地区住民の方々の支援が早急にできる体制をとっています。